旅と文化

発行所
東京都千代田区
神田神保町　1～30
財団法人 全国
修学 旅行 研究協会
電(301)0531・2429
編集・発行人
永井照

本号の第2面記事
①近鉄修旅専用電車
〃あおぞら号〃
②校外学習の指導と
計画②　鈴木英男
③工業高校の工場見
学川上　祐之ほか
④身体障害児の修旅

中学生はベビーブームで一杯

混雑する今春の修学旅行

専用列車以外は定員オーバー

今春から来年度にかけて中学校の修学旅行は、終戦時のベビーブームの影響で戦後最高の生徒数になりそうである。特に実施時期が春や秋の旅行シーズンと重なるので輸送機関ばかりでなく宿泊旅館も見学地も大変な混雑が予想される。国鉄では例年よりも早くこれが輸送対策をまとめ、去る一月九日その大要を発表した。

国鉄では修学旅行の輸送については教育優先の立場から、早くよりその計画を練ってきた。その結果今春の各線別の修学旅行専用列車運転延本数は次の通りで

▼東海道、山陽線二五二一本▼北陸線四〇本▼関西線五〇本▼東北線四〇二本▼日光線四六九本▼中央線二〇本▼上越線二一六本▼信越線一四二本

合計三七六〇本となり前年度に比較する五一二本、一九%の増発となっているが、昨年十月のダイヤ改正により、国鉄の輸送力はほとんど限界線に達しているので、これ以上の増発は望めず、したがつて修学旅行専用列車の運転期間を三月一日に繰上げ、終了を七月下旬まで延長して輸送力を補うことになつた。これによつて輸送される生徒数は総計百三十四万になるが方面別に見ると次の通りとなる。

◇専用電車によるもの

〃ひので〃―東京から関西へ　一三七、六〇三人

〃きぼう〃―京阪神から関東へ　一三二、〇四五人

〃こまどり〃―岐阜、愛知、三重から関東へ　一一四、〇〇〇人

◇専用気動列車によるもの

福岡県中学連合の関西へ　一二、七六八人

◇専用列車によるもの

★関東地区（群馬、埼玉、千葉神奈川）中学連合の伊勢及び京都奈良へ（三三、四〇六人）★高崎地区小学校の箱根、湯津方面へ（二六、〇〇〇人）★静岡、長野、名古屋地区中学生の京都へ（一〇七、二〇〇人）★福井、石川、富山中学生の箱根及び東京へ（五〇、九〇〇人）★富山、石川中学連合の関西へ（二三、二〇〇人）★長野松本地区中学生の東京、江ノ島方面へ（三一、〇〇〇人）★和歌山、奈良地区中学生の東京、箱根へ（三八、五二〇人）★福知山、鳥取、米子地区中学生の東京、箱根へ（二五、五七一人）★岡山高校生連合の関東へ（八二七〇人）★山口、広島高校生の関東へ（一四、六〇〇）★大阪地区高校生の九州（雲仙阿蘇、別府）へ（二一、〇〇〇人）★福岡県高校生の関東及び関西へ（一七、〇〇〇人）★北九州（福岡、大分、熊本）中学連合の関西へ（九二、〇〇〇人）★山口、広島中学生連合の関西へ（四三、一〇〇人）★北海道高校生連合の関東及び関西へ（一〇、二〇〇人）★函館地区中学生の日光、東京へ（一一九二四人）★東北地区中学生連合の日光、東京へ（一〇一、〇〇〇人）★新潟、酒田中学生連合の東京へ（五八、〇〇〇人）

◇東海道線一般修学旅行専用列車、電車によるもの

★昼行2往復、夜行3往復（二一三、八〇〇人）

車窓の観察

立正大学人文科学研究所長
東京教育大学名誉教授
理学博士　田中啓爾

せつかく郷里を離れて修学旅行をする時は、それが有名であるとか、ないとかいうことでなしに、いつも車窓からその土地土地の風物を眺めることに多大の好奇心をもつてもらいたい。お互の楽しい話は朝夕に宿などでかわされるし平素も十分話しはしているはずである。修学旅行こそ教室の延長で、終始緊張の連続であつてほしい。

移り行く窓外の風物は、各々の好みによつて何らかの印象を与えてくれる。マイクをとおして説明してもらえる観察事項はもちろんのことで所変れば色変わるで、おのずからの対比によつて地域差を感ずるにちがいない。「修学旅行のしおり」で記述されたものを探すのも楽しみであろう。目にうつる窓外の観察についてお互に話し合いするのはよいが、ほかの話は宿についてからということとすることが、教室の延長といえるのである。

東京から大阪に向うと、横浜の戸塚にあるブリジストンや、茅ケ崎の東洋製陶工場や、大磯の金銭登録工場や、小田原近くのチュウインガム工場などは工場が車窓からきれいに見えるようにつとめている。大阪の近くの高槻付近にあるサンスター歯みがき工場、明治製菓工場、松下電気（ナショナル）工場、専売局のたばこ工場などは、みなきれいに見える競争をしているといつてもよいほどである。京都と大阪の中間による寿屋のサントリーおよびトリスウイスキー工場などは、わざわざ鉄道線路の近くに進出させて、はなやかなマークで飾られて目をひくことにしている。これらは、最近の傾向で、PRの世の中であるから同じ工場を設けるならば、列車の通過量の大な所にデコレーションケーキのような工場をつくり、敷地も庭園のように手入しようとするのである。私はこれをマスコミに対する「車窓工場」と名づけている。これは今後著しく増加するにちがいない。これに対しては、修学旅行をするものは、どんな工場が日々に沿道のどこに建つつあるかに注意して、設備の投資、新産業の振興、自由貿易に対する日本の態度などを考えたいものである。日本が列国に比して成長率の大きなことはこれらを指標とすることによつて体得することができるであろう。

大船、藤沢付近にも新しいきれいな工場ができた。京浜工業地帯は、いまこの方面を充実しつつある。名古屋の北方の国鉄と国道とに挟まれた地域には、キリンビールと豊田自動車工場が大きな工場を建設中である。ここにも名古屋工業地帯の発展のいぶきがあらわれている。京都の南方には、キリンビールその他の工場が建設中である。ビールブームにつれて各社がしのぎを削つて各地に進出していることもわかる。古典的な京都においても、九条から南部は今後工業地化する可能性が顕著になつて来た。

こんな車窓工場は、いずれも工場名が明記してあるのが常であるから、修学旅行者によつては観察を待つているようなものである。

都立高校の〃ひので〃利用

東京都公立学校修学旅行実行委員会委員　谷信勝

東京都立の高等学校が行つている修学旅行は、おおむね三月中旬に始まり四月上旬の始業式頃に終つており、行先としては関西・北四国・南紀方面が圧倒的である。このことが品川――名古屋――京都間をピストン運転する修学旅行専用電車「ひので号」を全面的利用することに大詰団結させ、今から三年前の昭和三十四年秋に都公立高校修学旅行実行委員会が設けられた。その後この実行委員会を中心に「ひので号」利用の修学旅行の円満な実施が計られ、昭和三十五、六年の両年にわたり効果的な修旅が成功裡に行われてきた。

委員会発足第四年目の今年（昭和三十七年）は、昨年二月乗車希望各高校より出発希望日の申込をうけ、委員会の数次にわたる会議の結果、関係各高校の了解をえて、毎日一二〇〇名以内に調整したこの案が国鉄の承認をえたので、来る二月一日三菱銀行本店講堂において参加各校に対して説明打合せ会を開き、修学旅行の円満な効果的な実施を計ることにしている。

この調整案によると、墨田川高校の三月十五日出発を皮切りに、本所工高ほか四校の四月八日まで（以後は都の公立中学が乗車）二十五日間、七十五校（定時制も一校として計算）約二万人が乗車することになつている。このうち四国方面は約三三校南紀方面九校で「ひので号」でなければ計画できぬスケジュールが巧に組まれている。関西地区も飛鳥、奈良京都と日本史を編年体で回る高校、京都をベースキャンプとして阪奈、比叡方面を回る高校、班別にわけて古美術、地理産業等のグループ研究する高校等「修学」の厚みを年々歳々加えていることは注目に値する。

春季の修学旅行は前述のように各校の暖い協力よつて、出発日の繰上げ繰下げの調整が行われ「ひので号」の計画的輸送がスムースに計画されたが、実行委員会として今秋は特に大きな問題を未解決に残している。というのは御承知のように、今年の中学三年生はベビーブームの最高潮で、都の公立中学の「ひので号」利用日数が十二両に増車された本年においても、約一カ月延長され四月九日から七月七日までと九月始めから十一月二十六日となつていることである。このため最近増えてきた高校二年秋に実施する修学旅行は、十二月に近い薄寒い時季でないと「ひので号」利用が不可能なことになる。これについては文部省の学力検査が前年通り実施されるならば、その前三日間は中学側の利用が見込まれないのでその期間に充当することも考えられるがその検査日は現在のところ一切不明で計画の方法がない。このため「ひので号」愛乗の高校の一部は本秋に限り涙をのんで辞退するところも現われ、一方日没の早い寒季に入る十一月末でも強行するという熱心な高校もあり、実行委員会として、その対策になお苦慮している。そして少しでも快適な思い出深い修学旅行としたいと念じ努力を重ねている。

必要な各縣毎の輸送対策

心配される事故と健康管理

国鉄の今春における修学旅行輸送計画によつて、中距離以上の中、高校生徒百三十万人の輸送が明らかになつたが、これで今春の修学旅行の輸送面が全部解決されるとは思われない。何故なら今春の修学旅行参加生徒数が当協会の調査によると中、高併せて約二百十七万位と見込まれているので、約八十七万人の生徒輸送が今後の問題として残されているからである。したがつて、これが解決策としては、各県あるいは各郡市毎に全修協の各県支部長や学校や各関係者が話し合いを持ち、計画的な輸送方法の樹立を急がねばならない。また、輸送機関としては、国鉄のほかバスや私鉄、船舶などの有効な使用も考えられる。このように今春の修学旅行は、生徒増のため定員の一・五倍は乗つてもらわなければならないだろうと国鉄では言つているし、期間の延長で七月まで旅行をするため、生徒の疲労度が大きくなり、その上旅行シーズンと重なるため、旅館や駅、見学地の混雑が激しく、そのため例年にない事故問題の起ることが今から心配されている。今春の修学旅行では、児童生徒の健康管理を特別に配慮するよう各関係者に望みたいものだ。

第二ひので国鉄陳情

東京近縣教育界代表ら

磯崎理事に陳情書を渡す代表ら

東京近県（埼玉、千葉、神奈川、静岡）の中学生にも修学旅行専用電車〃第二ひので号〃を建造しようと、近県教育界の代表者（埼玉県浦和市教育長須藤多市氏外六名）が去る十二月二十一日午前十時より国鉄本社の磯崎常務理事や森旅客課長らと会見し、建造方についての陳情を行つた。

先づ陳情団を代表して須藤浦和市教育長が、磯崎常務理事に建造の必要性をのべて陳情書を手渡したのち、全修協永井事務局長より東京近県における中学生の関西旅行の実状を概括的に説明して、東京近県での〃第二ひので号〃要求の声が強いことを補足した。

次いで別室にて森旅客課長、井原課長補佐、長谷川係長らと懇談に入つた。国鉄では修学旅行には優先的に考慮しているが、集中的に輸送するので期間が延長になる。しかし現在の東海道線には〃第二ひので〃を入れる急行のスジがどうしてもない。陳情団では、小口団体輸送では、ひので比較して客車が古く、時間も長くかかる。また〃ひので〃を利用しても東京都のあとの七月だから暑くて弁当などの中毒の心配があり教育的にもよくない。教育優先の立場から東京近県の生徒にも是非共〃第二ひので〃の建造が望ましいと強調した。これに対し国鉄側もよく了承したので、更によく研究したいと答えてこの日の陳情を終了した。

旅の安全を祈つて

原いさむ

皆な楽しく・・つゝがなく・・

修学旅行

―のご用命に―

最高水準を行く技術・組織・経験で
誠実なサービスを致しております

営業所　全国に 120ヶ所

近畿日本ツーリスト

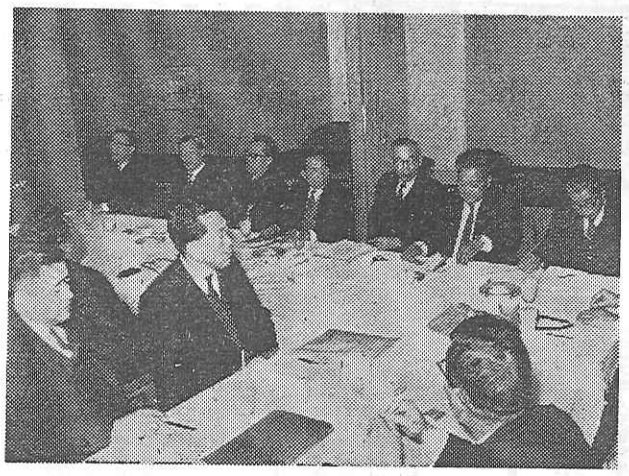
本社　東京都千代田区丸の内国際観光会館内231～5561

近鉄修学旅行専用電車の愛称

あおぞら号に決る

入選校は大阪市玉川小と三重県鳥羽小

近畿、東海地区小学生児童の修学旅行専用電車建造については、児童の交通安全と学習のために、かねてより本協会は近畿日本鉄道株式会社に対しこれが建造の要請を重ねてきたところ、去る三十六年七月正式に同会社より新造についての回答があり、（本紙第四四号にて詳報）その後この専用電車の愛称については、近畿地区、東海（愛知、岐阜、三重）地区の小学生より広く募集していた。三十六年十月二十日募集を締切り、慎重に審査の結果、本年一月二十日、「あおぞら」を愛称の入選名として決定の上発表した。



大阪近鉄会館における中央審査会の愛称選定風景

近鉄の修旅専用電車愛称中央審査会は、去る一月二十日、各県審査員代表二名、全修協、近鉄会社代表が集り大阪近鉄会館において開催、左記の学校の学級が入選した

入選

「あおぞら」号

▼大阪市立玉川小学校　六年　二組

▼三重県鳥羽市立鳥羽小学校　三年　三組

佳作

（近畿地区）

「こばと」

奈良県生駒郡三郷小学校　二年　二組

「二　晃」

兵庫県尼崎市灘波小学校　六年　十組

「思い出」

大阪市西成区北津守小学校　六年　一組

「仲よし」

大阪府柏原市柏原小学校　一年　月組

（東海地区）

「わかあゆ」

岐阜市華陽小学校　月組五年

「わかぐさ」

大垣市西小学校　六年　二部

「なかよし」

愛知県豊川市中部小学校　五年　五組

「おもいで」

愛知県一の宮市立向山小学校　六年　四組

「こばと」

三重県安芸郡上野小学校　一年　い組

なお、入選校に対する授賞式は二月一日午前十一時より、大阪市天王寺区上本町の近鉄会館において中央審査員、入選校代表（校長、児童代表）全修協、近鉄など各関係者が集って盛大に行われた。

校外学習の計画と指導 ②

東京都北区教育委員会指導室長　鈴木英男

さきに校外学習の計画と指導に関する一般的な問題点をあげたが、ここでは、とくに「計画」についてのみ具体的に考えてみたい。

学校行事としての校外学習の計画は、生活指導、教室学習の延長、あるいはレクリエーションなどといつたねらいを、すべての教師がふまえて、学校として考えるべきこと、学年単位できめること、学級で相談することなど、いくつかの段階において立案されていかなければならない。

学校として考えるべきことの中で重要なことの一つは、学校が、学年単位で毎年毎年、候補地を選択し、一年ごとに計画を立てるというようなやり方ではなく、六年間なり、三年間にわたつて学校全体としての計画をもつということであろう。このことは、学校が、学年の候補地を規制するということではなく、また、マンネリズム的な傾向におちいることを警戒しなくてはならないが、教科やその他の教育課程と関連づけて、学習としての効果や、健康、安全を配慮した教育的な計画という立場からは重要なことであるということである。

また、学校の全体計画では、小、中学校の関連をとくに考えて、綜合的な計画が望ましいことはいうまでもない。

つぎに、学年でたいせつなことは、生徒の発達段階に応じて、その学年の自治活動の能力に応じ、あるいは、対社会的活動の可能性の限界を考えて計画するということである。

一般に学年での計画は、その目的や日程、経費、服装、所持品、行動の組織、規律や注意事項といつたようなことを軸にして立案されるわけであるが、これらの計画が形式化したときに、その価値を失う。その意味で、先にのべたことが極めて重要なことになるのである。そしてこのことは、学級の計画についてもいえることであろう。

学級としての計画は、社会科などのように学習目的をもつて行なわれる場合とは異なり学年からおろされた計画に立つて、学級としてはどんな行動をとるのか、班の編成をどうするか、各係が担当し処理することは何か、あるいは個人としての計画をどう立てるかなどということにしぼられてくる。

しかし、一日あるいは数日にわたる校外学習の計画を子どもたち自身が創造し、それを修正しながらおし進めていくことの中に価値があることを忘れてはならないし、それが形式的な計画にならない様、担任教師の巧みな指導が必要であることはいうまでもない。

以上、各段階について、とくに重要な問題と思われるものをいくつかあげてみたが、計画のない行動ほど無価値なものはないし、これほど危険なことはない。

だからといつて、教師という職業意識が、教科の学習内容との結びつきや、形式的な自治活動の効果をかたくなに考えようとしがちであることがあれば、これはまた大いに反省すべき点であろう。

工業高等学校の工場見学

東京都立向島工業高等学校教諭　川上祐之　〃　中川惠二

一、見学のねらいと工場の選び方

工業高等学校の工場見学のねらいは、低学年、高学年によつてちがつてくると考えられる。すなわち、低学年では、工場の認識、組織などの概要をはあくさせる程度にとどまるから、比較的単純な作業の工場、日常生活に直結する製品製造工場や原材料工場などを選ぶ。高学年では、科目内容の実際的認識、実習、職業指導、関連科目などから、かなり専門的になつてもよいので、その面で工場選択を行なえば、よりよい効果をあげることができると思う。

二、見学方法、実施上の留意点

低学年では、科別（機械科、電気科等）に合つた工場を選び、見学時間を二時間ぐらいとし、スライド、映画、講演などで工場の概要説明、現場見学、質疑応答の時間を入れて予定を終了する。高学年では、学科目の内容に従つて工場を選び、テーマをもつ数グループに分けて行うのがより効果的で、あらかじめ工場側にテーマを知らせ、それに応じた案内人、現場見学や質問の時間などよく打合わせておくことが必要であろう。

両学年共見学の事前指導、事後指導に万全を期することはいうまでもない。

三、工場見学の一例

（一）トヨタ自動車工場見学（豊田市）

見学の目的を流れ作業の形態、工程管理、品質管理の実態はあくの三点においた。夏休みを利用し、三年生一〇名、見学時間は午前八時から午後三時までとした。この見学は、自動車科の生徒が学習の過程で、大量生産方式、自動車工場のあり方などについて非常に興味を持ち、実際に現場を見学したいとの切望に教師側が動かされたもので、テーマの設定など生徒の自主的活動が主であつた。見学に際しては、総務課見学担当者の他に技術専門家が案内してくれ、現場において生徒の質問に随時答えられた。少人数の希望者だけの見学の為態度も真剣で、見学の効果は極めて大であつた。事前指導の徹底と事後の反省で更に効果を増した。

（二）三菱日本重工業横浜造船所見学

一年生八八名、三年生八八名が同時にした。テーマをもつた見学ではなくその上多人数で工場自体危険を伴なう場所も多い為かドックをみただけで船台は遠望、各工作工場などは内部を一寸のぞき見するだけの約一時間の見学。案内人も二名という少人数であつて、一年生には効果があつたが三年生には不充分であつた。

四、工場見学をとり入れた修学旅行

工業高校が修学旅行に工場見学をとり入れることは望ましいが、前述の二例から主として人数、時間、科目との関連、見学の時期など、研究すべき問題や隘路が存在する。関東と他地方との同種工場の対比など、おおいに修学旅行にとり入れたいが、現時点では、車窓からの工場見学に重点をおかざるをえない。

〃ひので〃で長距離修旅

身体障害児の独立心養成

肢体不自由児は全国に約十二万余人いるが、その中約半数の軽い者は普通の学校に通い、六万三千余人は養護学校へ行かなくてはならない程重い。しかし養護学校は全国に僅か二十一校しかなく、その収容力は八%に過ぎない現状である。

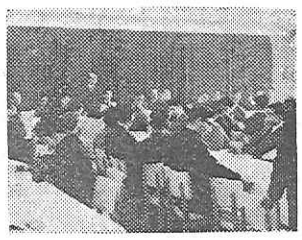
東京都の養護学校は、光明（小、中、高一二七〇名）小平（小、中一一三〇名）江戸川（小、中一一五〇名）国立教育大附属桐丘（小中一一五〇名）の学校があり、計約六〇〇名の児童生徒が通学している。都教育庁の調査によると都内には約二千八百人の肢体不自由児がいるので、来年度には北区に一校（一五〇名収容）を、更に将来中央線沿線にも一校（一五〇名収容）を建設する予定である。

都立光明養護学校長小野勲氏は身体不自由児の修学旅行について、「一昨年から〃ひので〃で高等部三年生（十八名）が関西旅行をしています。本年も六月にやはり〃ひので〃で十八名修学旅行することになつています。付添は五名位に制限し、生徒自身で行動し遠距離の旅行や宿泊や実地見学の経験を通して、劣等感をなくし独立心の養成に修学旅行を役立たしています。」と述べ、乗物や旅館の選定に誠実な手配をしてくれる業者や関係者に感謝している。

（写真は小野勲校長）

〃岩手を語る会〃好評

出席者より有益な意見発表



上野松坂屋の〃岩手を語る会〃

修学修行のための「みちのく岩手を語る会」が、去る一月二十一日午後一時より東京上野松坂屋百貨店において、岩手県その他の主催全修協や東京都などの後援のもとに開催された。都内の公私立中、高校の先生が百名以上出席したが東北地方の修学旅行について、輸送や宿泊、見学地などの詳細に亘る有益な意見が出て非常に参考になる点が多く午後三時半終了した。

環境と近代設備を誇る

修学団体 旅行のオアシス

宿泊料金

中学生　400円（2食）　1000名様の収容力

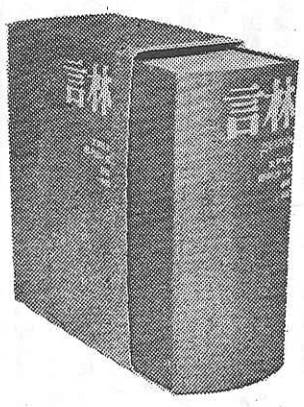
高校生　500円（〃）　親切、丁寧、清純

一　般　600円以上（〃）　なサービス

来年度のご予約はお早くお申込みを

東京青年文化会館

東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25　電話 東京(401) 5111～5（千駄ヶ谷駅 代々木駅）徒歩3分



語数17万国語辞典の決定版

言林

文博　新村　出編　定価　1400円

新版出来！

東京　小学館　神田一ツ橋

LIHIT LAB.